

 東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra



東京フィルの

午後の
コンサート
Afternoon Concerts

2024
season

5

〈クラシック・ジュークボックス〉

第33回 平日の午後のコンサート

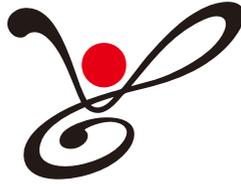
2024年5月15日(水) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

第21回 渋谷の午後のコンサート

2024年5月19日(日) 14:00開演
Bunkamuraオーチャードホール



chie id.



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・スポンサー

SONY **Rakuten Mobile** **マルハン** **LOTTE** **ゆうちょ銀行**

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第33回 平日の午後のコンサート

2024.5.15(水) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
Wed. May 15, 2024, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

第21回 渋谷の午後のコンサート

2024.5.19(日) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール
Sun. May 19, 2024, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall



〈クラシック・ジュークボックス〉 (Classical Jukebox)

指揮とお話 栗田博文 Hirofumi Kurita, conductor & speaker

ピアノ 壺阪健登** Kento Tsubosaka, piano

トロンボーン 辻 姫子(東京フィルトロンボーン首席奏者)* Himeko Tsuji, trombone (Tokyo Phil Principal)

コンサートマスター 依田 真章 Masanobu Yoda, concertmaster

アンダーソン：クラシカル・ジュークボックス(約3分)

Anderson: Classical Jukebox (ca. 3 min)

J. ウィリアムズ：映画『11人のカウボーイ』序曲(約10分)

John Williams: Overture to "The Cowboys" (ca. 10 min)

ディロレンツォ：トロンボーン協奏曲『リトル・カウボーイ』* (約12分)

DiLorenzo: Concerto for Trombone and Orchestra "Little Buckaroo" (ca. 12 min)

— 休憩 intermission —

アンダーソン：フィドル・ファドル、クラリネット・キャンディ、
トランペット吹きの子守唄、サンドペーパー・バレエ (約15分)

Anderson: Fiddle Faddle, Clarinet Candy, A Trumpeter's Lullaby, Sandpaper Ballet (ca. 15 min)

ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー** (約18分)

Gershwin: Rhapsody in Blue (ca. 18 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council
協力：Bunkamura (5/19) / In Association with Bunkamura (May 19)

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

出演者プロフィール

指揮とお話 **栗田博文**

Hirofumi Kurita, conductor & speaker

1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮デビュー。1989年に渡欧。同年、イタリアにおいて第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールに入賞し国際的な評価を確立。1995年、フィンランド・ヘルシンキにおいて開催された第1回シベリウス国際指揮者コンクールの最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。以後、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団等に客演し、キャリアを積んでいる。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。今後の活躍がさらに注目されている指揮者である。

東京フィルとは「ハートフルコンサート」「午後のコンサート」のほか映画音楽コンサートなど多彩なコンサートで数多く共演し、幅広い世代から愛されている。

公式ウェブサイト <http://hirofumi-kurita.com/>



ピアノ 壺阪健登

Kento Tsubosaka, piano

ピアニスト、作曲家。神奈川県横浜市出身。ジャズ・ピアノを板橋文夫、大西順子、作曲をヴァディム・ネセロフスキー、テレンス・ブランチャードに師事。慶應義塾大学を卒業後に渡米。2017年、オーディションを経て、ダニーロ・ベレスが音楽監督を務める音楽家育成コースのBerklee Global Jazz Instituteに選抜される。これまでにパキート・デリベラ、ミゲル・セノン、ジョン・パティトゥッチ、キャサリン・ラッセルらと共演。2019年にバークリー音楽院を首席で卒業。2022年、石川紅奈とユニット「soraya」を結成、同年4月1stシングルをリリース。その後全楽曲の作曲、サウンド・プロデュースを手掛ける。

2023年7月にはソロ・ピアノでスペインのサン・セバスティアン国際ジャズフェスティバルに出演。11月には銀座ヤマハホールにてピアノ・リサイタルを催行する。2022年より世界的ジャズ・ピアニスト小曽根真が主宰する若手アーティスト育成プロジェクト、From Ozone till Dawnに参加。小曽根真とも共演を重ね、ジャンルを超えた多彩な才能で、次世代を担う逸材と注目を集めている。東京フィルの「午後のコンサート」には初登場。



©Sakiko Nomura

トロンボーン 辻 姫子

Himeko Tsuji, trombone

京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻を首席で卒業。同大学大学院修士課程修了。現在東京フィルハーモニー交響楽団トロンボーン首席奏者。関西トロンボーン協会理事。玉川大学非常勤講師。これまでにトロンボーンを小西智、神谷敏、呉信一、岡本哲の各氏に師事。第15回松方ホール音楽賞受賞、第10回東京音楽コンクール金管部門第2位(1位なし)他受賞多数。ソリストとして、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団と共演。



プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

アメリカを感じる「クラシック・ジュークボックス」

ジュークボックスと聞いて、懐かしさを感じる方も多いのではないのでしょうか。今ではほとんど見かけなくなりましたが、かつてはお店の片隅にジュークボックスが置いてあったもの。コインを入れて好きな曲を流すことができました。実物を見たことがなくとも、古いアメリカ映画のワンシーンなどできっと目にしているはず。まだインターネットもCDもない時代に、オンデマンドで音楽を再生できたのですから、今にして思えば先進的なアイデアだったといえるかもしれません。ジュークボックスは音楽の流行を映す鏡でもありました。

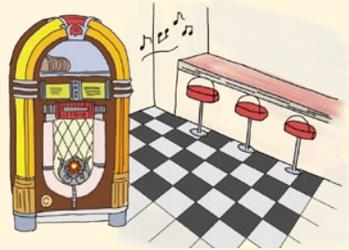
本日は「クラシック・ジュークボックス」と題して、アメリカが生んだ肩の凝らない名曲をお届けします。ルロイ・アンダーソンのその名も「クラシカル・ジュークボックス」を筆頭に、次々と軽快なメロディが流れてきます。西部劇やジャズなど、アメリカらしさを感じさせる音楽をたっぷりとお楽しみください。



マエストロ栗田博文のタクトで古き良きアメリカを感じさせる音楽をお楽しみください

©Takafumi Ueno

遊び心満載の粋なアメリカ軽音楽



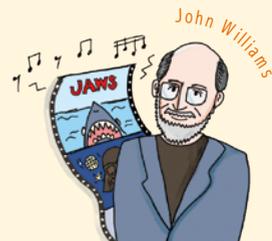
1949年、アメリカの人気女性シンガー、テレサ・ブルューワーが発表した「ミュージック! ミュージック! ミュージック!」は爆発的なヒットを記録しました。どこのお店に入っても、ジュークボックスから聞こえてくるのは、陽気な「ミュージック! ミュージック! ミュージック!」ばかり。そこで、**ルロイ・アンダーソン** (1908-1975) はそのパロディとして、遊び心満載の「**クラシカル・ジュークボックス**」を作曲しました。原曲のリズムに重ねて、ワーグナーの『タンホイザー』大行進曲、ドリーブのバレエ音楽風のワルツ、リストのハンガリー狂詩曲第2番が登場します。「ミュージック! ミュージック! ミュージック!」にもハンガリー狂詩曲第2番が引用されていたので、作曲者はこのアイデアを思いついたのでしょう。



中盤で「曲が前に進まずに同じところをなんどもループする」場面が出てきます。これはアナログ・レコードの「針飛び」を模したものです。レコードの溝にゴミや傷が付いていると、レコード針がずれて、こういう現象がよく起きました。わざわざ生演奏でまねをさせるところに、ルロイ・アンダーソン一流のユーモアが感じられます。

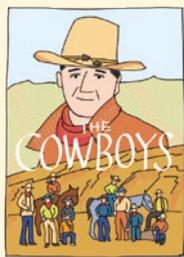
アメリカの大地を感じさせる西部劇音楽

ジョン・ウィリアムズ (1932-) といえば映画音楽の巨匠。『スター・ウォーズ』や『インディ・ジョーンズ』『ハリー・ポッター』など、数々の名曲がスクリーンを彩ってきました。ジョン・ウィリアムズの名を一躍世に知らしめたのは、1975年のアカデミー作曲賞を



受賞したスピルバーグ監督の『ジョーズ』でした。

しかし、それ以前にもジョン・ウィリアムズは多くの映画音楽を作曲しています。そのひとつが1971年の『11人のカウボーイ』。監督はマーク・ライデル、主演はジョン・ウェインで、老カウボーイと少年たちの物語が描かれる西部劇です。



活気にあふれた序曲が、アメリカ西部の雄大な光景を連想させます。後の『スター・ウォーズ』をほうふつとさせるところも。

この曲は吹奏楽編曲でも親しまれています。かつて演奏したことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。

西部劇の世界を疾駆するトロンボーンの妙技

続いても西部劇のムードが感じられる作品です。**アンソニー・ディロレンツォ**(1967-)はアメリカの作曲家、トランペット奏者。カーティス音楽院に学び、ユタ交響楽団の首席トランペット奏者を務めた経験を持ちます。映画音楽やテレビなど放送音楽の分野で活躍すると同時に、金管楽器のための作品を中心に数多くのオリジナル曲を発表して人気を呼んでいます。



トロンボーン協奏曲『リトル・カウボーイ』は1992年、ハリウッド映画の西部劇の音楽を集めた演奏会のために作曲されました。作曲者は「ワインを料理に合わせるように」、西部劇の精神とエネルギーをトロンボーンの名人芸に託したと語っています。

予感に満ちたゆったりとした序奏が連想させるのは広大な荒野。カウボーイの少年の冒険が始まります。意気揚々とした曲調が変わると、ソリストの妙技がくりひろげられます。



軽快でユーモア溢れるルロイ・アンダーソンの世界

アメリカ軽音楽の世界で最大の成功を収めた作曲家は**ルロイ・アンダーソン**でしょう。次々とヒット曲を世に送り出し、その多くはポップス・オーケストラのためのレパートリーに定着しました。軽快で親しみやすい曲想に加えて、ユーモアの要素がふんだんに盛り込まれているところがアンダーソンの魅力でしょう。

「**フィドル・ファドル**」とは英語で「つまらないもの」といった意。同時に「フィドル」とはヴァイオリンの別名で、言葉遊びのようなタイトルが付けられています。せわしなくコミカルな調子が続き、いつまでも曲が終わらなさそうなムードがあります。



「**クラリネット・キャンディ**」では、クラリネットが大活躍。作曲者はクラリネットの万能性と、高音域と低音域での音色のちがいに着目して、この楽器ならではの曲を作ろうと考えました。

「**トランペット吹きの子守唄**」はコンサートの舞台裏のなにげない会話から誕生しました。あるトランペット奏者が、アンダーソンに、これまでにないトランペット曲を書いてみないかと声をかけたのです。トランペットといえば、勇ましい曲ばかり。でもやさしい曲があってもいいのでは？ そして誕生したのが「トランペット吹きの子守唄」です。独奏は東京フィルトランペット首席奏者、野田亮がつとめます。

「**サンドペーパー・バレエ**」ではサンドペーパー（紙やすり）が楽器として用いられます。意外な道具を楽器として使うのはアンダーソンの得意技。リズムカルなサンドペーパーの摩擦音で、昔のソフトシューダンス（タップダンスのようなダンス）を模倣しています。



ジャズテイストを盛り込んだアメリカ音楽の傑作

アメリカの作曲家 **ジョージ・ガーシュウィン** (1898-1937) は、まずポピュラーソングの作曲家として世に知られました。最初の大ヒット作はアル・ジョルソンが歌った「スワニー」。ガーシュウィンは一躍人気作曲家の仲間入りを果たし、多忙な日々を過ごしていました。



1924年、ガーシュウィンが兄アイラとピリヤードに興じていたところ、新聞記事で「アメリカ音楽の実験」と題されたコンサートが開かれることを知ります。記事によれば「ガーシュウィンがジャズ風の協奏曲を作曲している」。寝耳に水だったガーシュウィンは、あわてて公演の企画者であるポール・ホワイトマンに電話をかけました。コンサートまではすでに一月もありません。ホワイトマンに説得され、ガーシュウィンはすぐさま新作にとりかかります。

当初「アメリカン・ラプソディー」と題されていた作品は、アイラの案で「**ラプソディー・イン・ブルー**」と改題されます。「アメリカ音楽の実験」の公演では、多数の作曲家たちの曲が演奏されました。ガーシュウィンの曲は全23曲中の22番目。長時間の公演に退屈していた聴衆たちは、その鮮烈な曲想に目を覚ましたことでしょう。初演時の編成はジャズ・バンド向けでしたが、後にグローフェが通常のオーケストラ向けに編曲して、クラシック音楽のレパートリーに定着することになりました。

ジャズのスタイルにもとづく即興的なピアノ・ソロを交えながら、華麗な楽想が次々と湧きあがってきます。

いいお・よういち(音楽ジャーナリスト)／著書に『クラシック音楽のトリセツ』(SB新書)、『R40のクラシック』(廣済堂新書)、『マンガで教養 はじめてのクラシック』監修(朝日新聞出版)、『クラシックBOOK』(三笠書房)他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

次回の午後のコンサート

お客様の質問募集中!

平日 第34回 平日の午後のコンサート
7月4日(木) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

渋谷 第22回 渋谷の午後のコンサート
7月7日(日) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

《夏のパリへ》 指揮とピアノとお話: 三ツ橋敬子 語り: 大山大輔*



今井光也 / オリンピック東京大会ファンファーレ
古関裕而 / 東京オリンピック・マーチ
ブリテン / 青少年のための管弦楽入門*
プーランク(フランセ編) / 『子象のババールの物語』*
久石譲 / 映画『菊次郎の夏』より「Summer」、
映画『ハウルの動く城』より「人生のメリーゴランド」
モーツァルト / 交響曲第31番『パリ』



三ツ橋敬子
©Earl Ross

大山大輔

三ツ橋敬子 / 東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。2006年トスカーナ管弦楽団とのツアーを指揮してヨーロッパデビュー。2008年第10回アントニオ・ベドロッチェ国際指揮者コンクール優勝、併せて聴衆賞、ベドロッチェ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年小澤征爾音楽塾中国公演では小澤征爾氏の代役で指揮、ピーター・ゼルキン氏と共演した。2013年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

大山大輔 / “井上道義×野田秀樹”による『フィガロの結婚』フィガロや、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇『ブラック・ジャック』タイトルロール、三ツ橋敬子指揮東京フィルによる富田勲 / 交響詩『新・ジャングル大帝 2009年』の歌・語りなど独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。また役者として演劇作品への出演や、劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』ではタイトルロールとして客演するなど幅広く活躍。

休日 第101回 休日の午後のコンサート
6月9日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

《コバケンの『わが祖国』》

指揮とお話: 小林研一郎
ピアノ: 小林愛実*
ナビゲーター: 朝岡聡

《完売》 モーツァルト / ピアノ協奏曲第20番*
スメタナ / 連作交響詩『わが祖国』より
“ヴィシェフラド(高い城)” “ヴルタヴァ(モルダウ)”
“シャルルカ” “ボヘミアの森と草原から”
〈スメタナ生誕200年〉

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時~18時/土日祝休
発売日の土日祝は10時~16時営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)



午後のコンサート。 2024シーズン 今後の公演

大人気シリーズ「午後のコンサート。」2024シーズンが開幕いたしました。オーケストラの名曲と音楽家のお話とおきのお話で楽しむ午後のひととき。注目のアーティストとの音楽の時間をお楽しみください。7・8・9月公演の1回券を5月より発売いたします。



渋谷の午後のコンサート 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00

7月7日(日)

第22回

夏のパリへ

指揮とお話:

三ツ橋敬子

語り:

大山大輔

1回券
5月発売



©Earl Ross

9月8日(日)

第23回

心躍らせたあの曲との再会

指揮とお話:

尾高忠明

桂冠指揮者

ヴァイオリン:

竹内鴻史郎

1回券
5月発売



©上野隆文

11月4日(月・祝)

第24回

なんでもOKストラ!!

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

1回券
8月発売



©上野隆文

©Yuji Takeuchi

平日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00

託児あり

7月4日(木)

第34回

夏のパリへ

指揮とお話:

三ツ橋敬子

語り:

大山大輔

1回券
5月発売



©Earl Ross

9月4日(水)

第35回

心躍らせたあの曲との再会

指揮とお話:

尾高忠明

桂冠指揮者

ヴァイオリン:

竹内鴻史郎

1回券
5月発売



©上野隆文

11月8日(金)

第36回

なんでもOKストラ!!

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

1回券
8月発売



©上野隆文

©Yuji Takeuchi

2024シーズン「渋谷」「平日」シリーズは同演目になります。

休日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00

託児あり

6月9日(日)

第101回

コバケンの「わが祖国」

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

小林愛実

予定枚数
終了



©上野隆文 ©Makoto Nakagawa

8月12日(月・祝)

第102回

山の思い出

指揮とお話:

横山 奏

ヴァイオリン:

辻 彩奈

ゲスト:

石丸謙二郎

1回券
5月発売



©平館平 ©Makoto Kamiya

10月14日(月・祝)

第103回

クラシックの車窓からII

指揮とお話:

角田鋼亮

チェロ:

鳥羽咲音

1回券
8月発売



©Hikaru Hoshi ©Julia Wesely

午後のコンサート 2024シーズンの1回券 7・8・9月公演 新規発売スケジュール

最優先※お電話のみ (賛助会員様、定期会員様)	発売中
優先※お電話のみ (東京フィルフレンズ会員様)	5/18(土)10:00~
WEB優先発売 (どなたでもお求めいただけます)	5/18(土)10:00~ 5/27(月)23:59
一般発売	5/28(火)10:00~



イラスト:ハラダチエ

◆渋谷/平日/休日 各シリーズ共通 1回券

1回券料金	S席	A席	B席	C席
定価	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
東京フィルフレンズ会員 WEB優先発売期間	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※公演・席種により4回セット券で完売となっている場合がございます。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。

※公演中止の場合を除き、お求めいただいたチケットの払戻・変更等はいたしかねます。

※未就学児のご入場はお断りしております。東京オペラシティでの公演では託児サービス(要予約・有料)をご利用いただけます。お申し込みの際は【イベント託児・マザーズ®】0120-788-222 (土日祝日を除く10:00-12:00、13:00-17:00)までご連絡下さい。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時~18時/土日祝休 発売日の土日祝のみ10時~16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



2024シーズン 今後の定期演奏会

2024シーズンの東京フィル定期演奏会7・9・10・11月の1回券が発売となりました。6月の第1000回定期『トゥランガリーラ交響曲』に続き、名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、桂冠指揮者ダン・エッティンガーと俊英・出口大地ら、注目のマエストロたちとの聴き逃せない公演が目白押し。東京フィルの充実、声楽との融合、協奏曲の躍動を引き続きどうぞお楽しみください。

6月 指揮: **チョン・ミョンフン** (名誉音楽監督)
ピアノ: **務川慧悟**
オンド・マルトノ: **原田 節**

第1000回 6月23日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第1001回 6月24日(月) 19:00
サントリーホール
第162回 6月26日(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

メシアン/トゥランガリーラ交響曲
公演時間: 約80分(休憩なし)



1回券発売中

7月 指揮: **ダン・エッティンガー** (桂冠指揮者)
ピアノ: **阪田知樹***

第163回 7月24日(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第1002回 7月28日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第1003回 7月29日(月) 19:00
サントリーホール

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第20番*
ブルックナー/
交響曲第4番『ロマンティック』
(ノヴァーク版)
〈ブルックナー生誕200年〉



1回券発売中

9月 指揮: **チョン・ミョンフン** (名誉音楽監督)
マクベス: **セバスティアン・カターナ**
マクベス夫人: **ヴィットリア・イエオ**
バンクォー: **アレックス・エスポージト**
マクダフ: **ステファノ・セッコ**
マルコム: **小原啓楼**
侍女: **但馬由香**
医者: **伊藤貴之**

マクベスの従者、刺客、伝令: **市川宥一郎**
合唱: **新国立劇場合唱団(合唱指揮:富平恭平)**
第1004回 9月15日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第1005回 9月17日(火) 19:00
サントリーホール
第164回 9月19日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

ヴェルディ/歌劇『マクベス』

オペラ演奏会形式

公演時間: 約2時間45分(休憩含む)



1回券発売中

10
月

指揮: 出口大地

ヴァイオリン: 服部百音*

第1006回 10月17日(木) 19:00
サントリーホール第165回 10月18日(金) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール第1007回 10月20日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

ハチャトゥリアン／

『ヴァレンシアの寡婦』組曲より

ファジル・サイ／

ヴァイオリン協奏曲『ハーレムの千一夜』*

コダーイ／ガランタ舞曲

コダーイ／

ハンガリー民謡『孔雀は飛んだ』による変奏曲



1回券発売中

11
月

指揮: アンドレア・パッティストーニ

(首席指揮者)

第166回 11月13日(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール第1008回 11月17日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール第1009回 11月19日(火) 19:00
サントリーホール

マーラー／交響曲第7番『夜の歌』

公演時間: 約80分(休憩なし)



1回券発売中

1回券料金(全席指定・税込)

SS席 ¥15,000 S席 ¥10,000(¥9,000) A席 ¥8,500(¥7,650)

B席 ¥7,000(¥6,300) C席 ¥5,500(¥4,950) ()=東京フィルフレンズ料金

お問合せ 東京フィルチケットサービス

詳細はこちら

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休／
発売日の土日祝は10時～16時)

URL www.tpo.or.jp/ (24時間受付・座席選択可)



6月定期は「第1000回」を記念し、マエストロ チョン・ミョンフンのもと 20世紀の傑作、メシアン『トゥランガリーラ交響曲』を演奏

6月の定期演奏会は、フランチャイズ・ホールである「Bunkamuraオーチャードホール」での記念すべき第1000回定期演奏会を含む3公演。世界的巨匠で東京フィル名誉音楽監督のマエストロ チョン・ミョンフンによる、オリヴィエ・メシアン(1908-1992)の傑作『トゥランガリーラ交響曲』をお届けします。

複雑なリズムや力強いサウンド、華麗な音像が次々に現れる「愛」をテーマにした本作。マエストロ チョンはかつて作曲家メシアンの立ち合いのもと演奏・録音し、「適切なテンポ、適切な強弱、本物の感情、本物の喜び！多くの優れた解釈の後で、この新たな解釈はあらゆる点で優っており、参考にすべきものと言える」と絶賛されています。東京フィルとの本作の演奏は2007年以来、17年ぶり。米国クーセヴィツキー財団の委嘱により生まれた20世紀の傑作を現代によみがえらせる記念碑的コンサートをぜひ、お聴き逃しなく。18ページでマエストロ チョンのインタビューをご紹介します。

⇒特設ページで聴きどころやインタビューを紹介中！



公演情報

第1000回オーチャード定期演奏会
6月23日(日)15:00 Bunkamura オーチャードホール

第1001回サントリー定期シリーズ
6月24日(月)19:00 サントリーホール

第162回東京オペラシティ定期シリーズ
6月26日(水)19:00 東京オペラシティ コンサートホール

指揮：チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)

ピアノ：務川慧悟

オンド・マルトノ：原田 節



©上野隆文

メシアン／トゥランガリーラ交響曲

公演時間：約80分(休憩なし)

協力：Bunkamura(6/23公演)

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ



©M.Yamashiro

©Yutaka Hamano

【料金】1回券 SS¥15,000 S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000 C¥5,500

※東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます(SS席を除く)

お問合せ 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522(平日10時～18時/土日祝休)

4月よりホルン・セクションに佐藤俊輝(さとう・としき)が入団いたしました。

「皆様、はじめまして。ホルンの佐藤俊輝です。

私は、奏者それぞれの個性が混ざり合って相乗効果をもたらし、感動を味わうことのできる。そんな『オーケストラ』で演奏することを中学生の頃から夢見ていました。

この伝統ある東京フィルの一員としてシンフォニーからバレエ、オペラ、ポップスなど幅広い音楽を、素晴らしい共演者の皆様とともに、お客様にお届け出来ることを光栄に思います。日々精進し、さらに素敵な演奏が出来るよう努めてまいります。これからどうぞ宜しくお願い致します」。



4月よりホルン・セクションに西川優弥(にしかわ・ゆうや)が入団いたしました。

「皆様、はじめまして。ホルンの西川優弥です。伝統あるオーケストラの一員として、演奏活動をさせて頂くことを大変嬉しく思っています。

私が初めて聴きに行ったオーケストラの演奏会が、東京フィルのシネマコンサートでした。大好きな映画とその音楽の演奏に、感動したことを今でも覚えています。そんな感動を、今度はお客様に与えることが出来るよう精一杯取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしく願っています」。



Follow Us!

2024シーズン、7月・9月・10月・11月の定期演奏会と7月・8月・9月の「午後のコンサート」の1回券の販売を開始いたしました。

音楽家たちのインタビューやメッセージは、東京フィルウェブサイトやSNSからもご覧いただけます。東京フィルにもっと親しみを感じていただけるはず。

ぜひ、フォローしてください！



ウェブサイト



X(Twitter)



Facebook



Instagram



Youtube



「メシアンは子どものように純粋な精神の持ち主でした」とマエストロは語ります



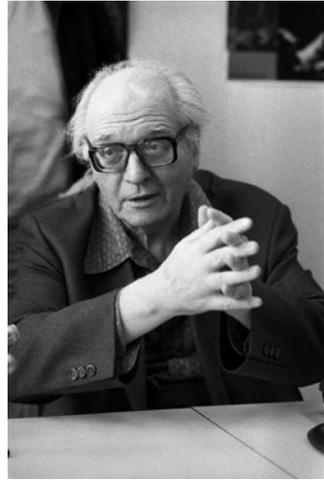
若き日のマエストロ チョン・ミョンファンが、初めてオーケストラとのレコーディングを行ったのがメシアンの『トゥランガリーラ交響曲』。1949年に完成・初演された本作をメシアンは1990年に「自分の死後も作品が“正しく”演奏されるように」との意向から改訂を加えます。その改訂版の初演と録音を行い、立ち会った作曲者本人から惜しめない絶賛を受けたのがマエストロ チョンでした。

今年2月に行われたインタビューでは、最晩年のメシアンとの交流の思い出とともに作品への想いを瞳を輝かせて語ってくれたマエストロ。ここでは、そのインタビュー記事から抜粋してご紹介します。

(文=室田尚子／掲載初出:Webマガジン「ONTOMO」チョン・ミョンファン、東京フィル第1000回定期で取り上げるメシアン作品に込められた「愛」を語る)

「メシアンは私が生涯に出会ったもっとも素晴らしい音楽家のひとりであり、また人間としては“聖人”であると感じた唯一の人でもあります。彼と一緒に仕事をする中で、人類に対する希望というものが湧いてきたのを覚えていています」

「『トゥランガリーラ交響曲』は非常に複雑な作品ですが、特にリズムが独特です。また、メシアンの作品はスピリチュアルなもの、神に捧げられたものが多いですが、大作としてはスピリチュアルな要素だけではないという点がとてもユニーク。非常に複雑で多様なものが爆発している、いわば“青年”のスタイルを持っているといえます」



1986年のオリヴィエ・メシアン
©Croes, Rob C. / Anefo

——『トゥランガリーラ交響曲』はメシアン自身によって「愛の歌である」と語られており、実際に「愛の歌」「愛の眠りの園」「愛の展開」といったタイトルがつけられた楽章があります。メシアンがこの作品で描こうとした「愛」とはどのようなものであるとマエストロはお考えですか。

「メシアンの作品はすべてが彼の深い信仰心からくる愛のメッセージです。（中略）キリスト教は世界にあるさまざまな宗教のひとつにすぎませんが、多くの宗教における宗教観には共通のものがあると思います。なぜなら愛というのは、絶対的に精神的なものだからです。『トゥランガリーラ交響曲』は複雑な和声やリズムをもち、決して易しい作品ではありませんが、音そのものは十分に楽しんでもらえると思います。

先ほど私はメシアンのことを“聖人”といましたが、彼は子どものように純粋な精神の持ち主でした。みなさんもぜひ、子どものような耳で聴いてみてください。きっと楽しめると思いますよ」



全文はこちらから

<https://ontomo-mag.com/article/interview/tpo-myung-whun-chung-messiaen-2024/>

Photo Reports 2024年3月の演奏会より

2024シーズン3月は、首席指揮者アンドレア・バッティストーニが登場。定期演奏会では激動の20世紀前半のヨーロッパで活動した二人の作曲家、レスピーギとカール・オルフの作品で3会場を沸かせました。提携都市公演では文京区での「響きの森クラシック・シリーズ」、長岡市での「長岡市立劇場開館50周年記念特別演奏会」で各地の皆様にはバッティストーニの輝かしい演奏をお届けしました。

文京シビックホール 響きの森クラシック・シリーズ Vol. 79(3/9)

撮影=三浦興一

指揮：アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)
ピアノ：阪田知樹*
コンサートマスター：依田真宣

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第3番*

【ソリスト・アンコール】リスト／ハンガリー狂詩曲第11番

ラヴェル／道化師の朝の歌(管弦楽版)

ラフマニノフ／ヴォカリーズ

ラヴェル／ボレロ



3月定期演奏会(3/10、13、15)

撮影=上野隆文

指揮：アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)
ソプラノ：ヴィットリアーナ・デ・アミーチス* カウンターテナー：彌勒忠史*
バリトン：ミケーレ・パッティ* 合唱：新国立劇場合唱団(合唱指揮：富平恭平)*
児童合唱：世田谷ジュニア合唱団(児童合唱指揮：掛江みどり)*
コンサートマスター：依田真宣

レスピーギ／リュートのための古風な舞曲とアリア 第2組曲

オルフ／世俗カンタータ『カルミナ・ブラーナ』*

【オーケストラ・アンコール】オルフ／世俗カンタータ『カルミナ・ブラーナ』より

「おお 運命よ」(3/15)



首席指揮者アンドレア・バッティストーニの魅力をご存分に引き出すプログラミングで3公演をお届けしました



マエストロの闊達で歌にあふれたタクトに、ソリスト、合唱団、そしてオーケストラが一体となって応え、会場を興奮の坩堝へと導きました



ヴィットリアーナ・デ・アミーチス(ソプラノ) / 彌勒忠史(カウンターテナー) / ミケーレ・パッティ(バリトン)

長岡市立劇場開館50周年記念
長岡特別演奏会(3/24) 長岡市立劇場

指揮：アンドレア・バティストーニ
(首席指揮者)

ソプラノ：木下美穂子

メゾ・ソプラノ：中島郁子

合唱：長岡フェニックス合唱団
(合唱指揮：駒井ゆり子)

コンサートマスター：三浦章宏



ビゼー／『カルメン』組曲より

ロッシーニ／歌劇『ウイリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

ヴェルディ／歌劇『イル・トロヴァトーレ』より“鍛冶屋の合唱”

ヴェルディ／「レクイエム」より“アニュス・デイ”“リベラ・メ”

マスカーニ／歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より“復活祭の合唱”

ヴェルディ／歌劇『アイダ』より“凱旋行進曲” ほか

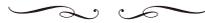
【アンコール】ヴェルディ／歌劇『ナブッコ』より“行け、黄金の翼に乗って”

クラシック音楽との出会い、 現代

医療法人エレソル たにぐちファミリークリニック 理事長
谷口 聡



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第23回は、法人後援会員で埼玉県三郷市で地域医療・在宅医療を手掛ける「医療法人エレソル たにぐちファミリークリニック」理事長の谷口 聡 様。学生時代には吹奏楽部でトランペットを担当して担任の先生の影響もあり音楽にのめり込んでいかれた思い出、そして東京フィルでの印象的なコンサートの記憶を綴ってくださいました。



私の青春時代は昭和の末で、中学時代にCDが現れ、高校時代にレコードは急速に淘汰されていった。私の家にも古いレコードプレーヤーと新しいCDプレーヤーが同居していた。学生時代は吹奏楽部に所属し、朝から晩まで浴びるように様々な音楽を聴いていた。トランペット奏者らしくワーグナー派を自称し、マーラーの「交響曲第5番」の冒頭を何度も吹き直しては、CDで聴く一流オケ奏者との格差に絶望した。そんな高校時代に強く残る記憶の話。

私のクラス担任は美術教師だったが、私はこの先生が好きでしばしば美術準備室に潜入していた(美術教師がタバコ臭いのは日本人の共通認識だが、この先生も御多分に洩れず大層タバコ臭かった)。先生はサッカー部の顧問のくせしてクラシック音楽の大ファンで、僕に様々な曲を教えて下さった。また、よくレコードも貸してくれた。バーンスタインがピアノを弾いている、マーラーの『少年の魔法の角笛』や『さすらう若人の歌』、ウィーン・フィルの『大地

レナード・バーンスタインがピアノを弾いたマーラーの歌曲集『少年の魔法の角笛』（ピアノ版）のCDジャケット（メゾ・ソプラノ：クリスタ・ルートヴィヒ、バリトン：ヴァルター・ベリー）。このジャケット写真のCDは残念ながら廃盤のようだが、復刻盤などで聴くことができる



の歌』を借りた時は、これらの曲に衝撃を受け、学校をサボって一日中家で、貪るようにリピート再生して聴いた。学校をサボった件について先生は口をアグアグさせていたが、一言「いいだろう？ アレ」とだけおっしゃった。そしてその後続けて「いつでもいいけどちゃんと返せよ」と釘を刺された。レコードは返さざるを得なかった。

さて、最近の東京フィルで忘れられないのは、コロナ休止明け最初の定期演奏会だ。2020年6月21日のステージ、奏者が現れた瞬間、会場が感動に包まれたのは忘れられない。また、2022年2月24日にウクライナ戦争が勃発した丁度同じ時に東京フィルは定期演奏会を行っており、27日のBunkamuraオーチャードホールで聴いたショスタコーヴィチの「交響曲第1番」は素晴らしくも複雑な心境だった。指揮の井上道義氏は演奏終了後に短くスピーチされ、今、ショスタコーヴィチを演奏する意義、また、第二次世界大戦時にフルトヴェングラーが誤った思い込みにより非難された事などに触れ、この戦争により音楽と音楽家が偏見による不当な扱いを受けるべきではないと強く訴えられた事が印象的だった。

令和になり世界が急速に変化して行く中、東京フィルの紡ぐ音楽が、かけがえの無い宝として光り輝いているように私は思う。

谷口 聡(たにくち・さとし)

1969年長野県生まれ、1998年山口大学医学部卒業。山口大学医学部附属病院、松波総合病院、三愛会総合病院など勤務、2010年たにくちファミリークリニック院長。2015年医療法人エレル理事長。現在クリニック、訪問診療、介護施設など運営。三郷市医師会理事、三郷市地域包括支援センター運営協議会会長。 <https://taniguchi-fc.jp/>

若葉の香りが漂う季節となりました。
 皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。
 今月はマエストロとピアニスト、楽団員が奏でる
 軽やかな音楽を心ゆくまでお楽しみください。
 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここに法人ならびに個人賛助会員(パートナー会員)の皆様のご芳名を掲げ、
 改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニーグループ株式会社	代表執行役 社長 COO 兼 CFO	十時 裕樹
楽天モバイル株式会社	代表取締役会長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	中島 英樹
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	笠間 貴之

法人会員

賛助会員 (五十音順・敬称略)

(株)III 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役社長 CEO 増田 裕一
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 有吉 伸人	キャノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス シニアアドバイザー 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 暹澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役社長 小澤 真也

ソニーグループ(株)
代表執行役 社長 COO 兼 CFO 十時 裕樹

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 高橋 薫

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 宗森 耕二

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 堀江 正博

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 大矢 光雄

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天モバイル(株)
代表取締役会長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレルソ たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)康明会
理事長 遠藤 正樹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一財)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

(株)ネスト
代表取締役 太田 潤

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年(明治44年)に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いつそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(次ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	ゆうちょ銀行(郵便振替)	三井住友銀行・東京公務部(096)
口座番号	00120-2-30370	普通預金 3003239
口座名義	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団	

※寄附金額は自由に設定いただけます。

※振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※領収証書が必要な方は、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入し、下記送付先へご送付ください。

寄附申込書の書式は下記ウェブサイトまたは問合せ先へご照会ください。



寄附申込書・賛助会入会申込書はこちらからも取得いただけます。
<https://www.tpo.or.jp/support>

ご支援・賛助会に関するお問合せ／寄附申込書 送付先

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax: 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel: 03-5353-9521(土日祝日を除く10時~18時)

東京フィルの賛助会(応援団)に入りませんか？

2024年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立113年を迎えます。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後も社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団



さまざまな形で青少年に演奏を届ける活動を続けています

賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

法人会員	※
年会費1口	
賛助会員	50万円
後援会員	30万円
パートナー会員	
ワンハンドレッドクラブ	100万円
フィルハーモニー	50万円
シンフォニー	30万円
コンチェルト	10万円
ラプソディ	5万円
インテルメッツォ	3万円
プレリュード	1万円

※オフィシャル・サプライヤーの詳細はお問い合わせください。東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「ご支援カウンター」またはウェブサイト、東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野^{かのまた} 麗々)

Tel: 03-5353-9521 (平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

活動のご報告

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。



フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。



文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演事業)」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度の「文化芸術による子供育成推進事業」では、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受け、2023年度も6月から1月にかけて、8校の小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催いたしました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演



留学生の演奏会ご招待・・・留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に來場のJICA東京研修生の皆様とチヨン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文



特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンラインの特別企画を展開しております。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

- 周年事業や記念イベントとして大切なお客様を招待したコンサートを開きたい
- 商品や新事業のプロモーションとして何か施策を考えたい
- 式典や学会などでの演奏を企画したい
- 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。

【広告・協賛のお問合せ】 東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
Tel: 03-5353-9521 (平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

～コンサートをお楽しみいただくために～

♪ チケットの座席番号をチェック！

・本日のコンサートは全席指定です。チケットに記載されたお席にご着席ください。

♪ 開演時間をチェック！

・時間に余裕をもってご着席ください。演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間の入場も楽曲の進行により制限させていただきます。

・曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬようご配慮ください。

♪ 開演前に、お手元のお荷物や電子機器をチェック！

・許可のない録音・録画は固くお断りいたします。

・演奏中に、時計やスマートフォン、その他電子機器のアラーム音やディスプレイの光が漏れないよう、電源をお切りいただくか、マナーモードの設定をいま一度ご確認ください。

・動いたときに音の出る衣類やバッグ等は足元に。

・のど飴類は開封時に音が出ないものをご準備ください。咳が出そうな日はあらかじめお手元やお口の中に。

♪ 演奏中に気を付けたいことも同時にご確認ください！

・演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございます。

マナーを守ってコンサートをお楽しみください♪

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ミョンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otake

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アシソエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宣
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榎原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hiroswawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

今村 亜里子
Ariko Imamura

入江 真歩
Maho Irie

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

黒田 玲
Rei Kuroda

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

松岡 野乃花
Nonoka Matsuoka

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michiyo Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔◎
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	梶 彩乃 Ayano Kajii
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	佐竹 正史◎ Masashi Satake	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	遠藤 柁一郎 Shuichiro Endo	岡村 彩香 Ayaka Okamura	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarian
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	小笠原 茅乃 Kayano Ogasawara	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	五箇 正明 Masaaki Goka	武田 基樹 Motoki Takeda
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	藤田 恵輔 Keisuke Fujita	ステージマネージャー Stage Managers
石川 剛 Go Ishikawa	小栗 亮太 Ryota Oguri	クラリネット Clarinets	佐藤 俊輝 Toshiki Sato	山内 正博 Masahiro Yamauchi	
大内 麻央 Mao Ouchi	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	田場 英子 Eiko Taba	チューバ Tubas	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	塚田 聡 Satoshi Tsukada	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	豊田 万紀 Maki Toyoda	荻野 晋 Shin Ogino	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	中村 元優 Motomasa Nakamura	鳥潟 さくら Sakura Torigata	西川 優弥 Yuya Nishikawa		
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa		島潟 さくら Sakura Torigata	山内 研自 Kenji Yamanouchi	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	ファゴット Bassoons	川田 修一◎ Shuichi Kawata	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	河野 星◎ Akari Kono	野田 亮◎ Ryo Noda	秋田 孝訓 Takanori Akita	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	木村 達志 Tatsushi Kimura	
		廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		井村 裕美 Hiromi Imura		中村 勇輝 Yuki Nakamura	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori		船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』『いないいないばあ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, Tokyo Phil regularly performs both symphonies and operas. Tokyo Phil is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting Tokyo Phil since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

Tokyo Phil has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand musical agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

Tokyo Phil has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 啓介
専務理事	篠澤 恭助		瀬谷 博道
石丸 恭一	田沼 千秋		日枝 久
	寺田 琢		
常務理事	遠山 敦子		
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務 経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	岡部 純	近藤 勉	高岩 紀子	新田 清枝	松澤 久美子
池田 敏美	小樽 敦子	今野 芳雄	高野 和彦	新田 伸雄	湊 貞男
糸井 正博	小山 智子	齊藤 匠	高村 千代子	二宮 純	宮原 真弓
今井 彰	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	竹林 良	野仲 啓之助	山屋 房子
井料 和彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 陽子	畑中 和子	吉田 啓義
岩崎 龍彦	加藤 博文	嵯峨 美穂子	田中 千枝	玻名城 昌子	米倉 浩喜
植木 佳奈	金崎 真由美	桜木 弘子	田村 武雄	福村 忠雄	脇屋 俊介
上野 眞行	川人 洋二	笹 翠	津田 好美	藤原 勲	
生方 正好	木村 友博	佐々木 等	戸坂 恭毅	古野 淳	
大兼久 輝宴	黒川 正三	佐野 恭一	長池 陽次郎	細川 克己	
大澤 昌生	黒沢 誠登	清水 真佐子	長岡 慎	細洞 寛	
大和田 皓	河野 啓子	瀬尾 勝保	長倉 穰司	本田 詩子	

〈発行日〉2024(令和6)年5月15日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

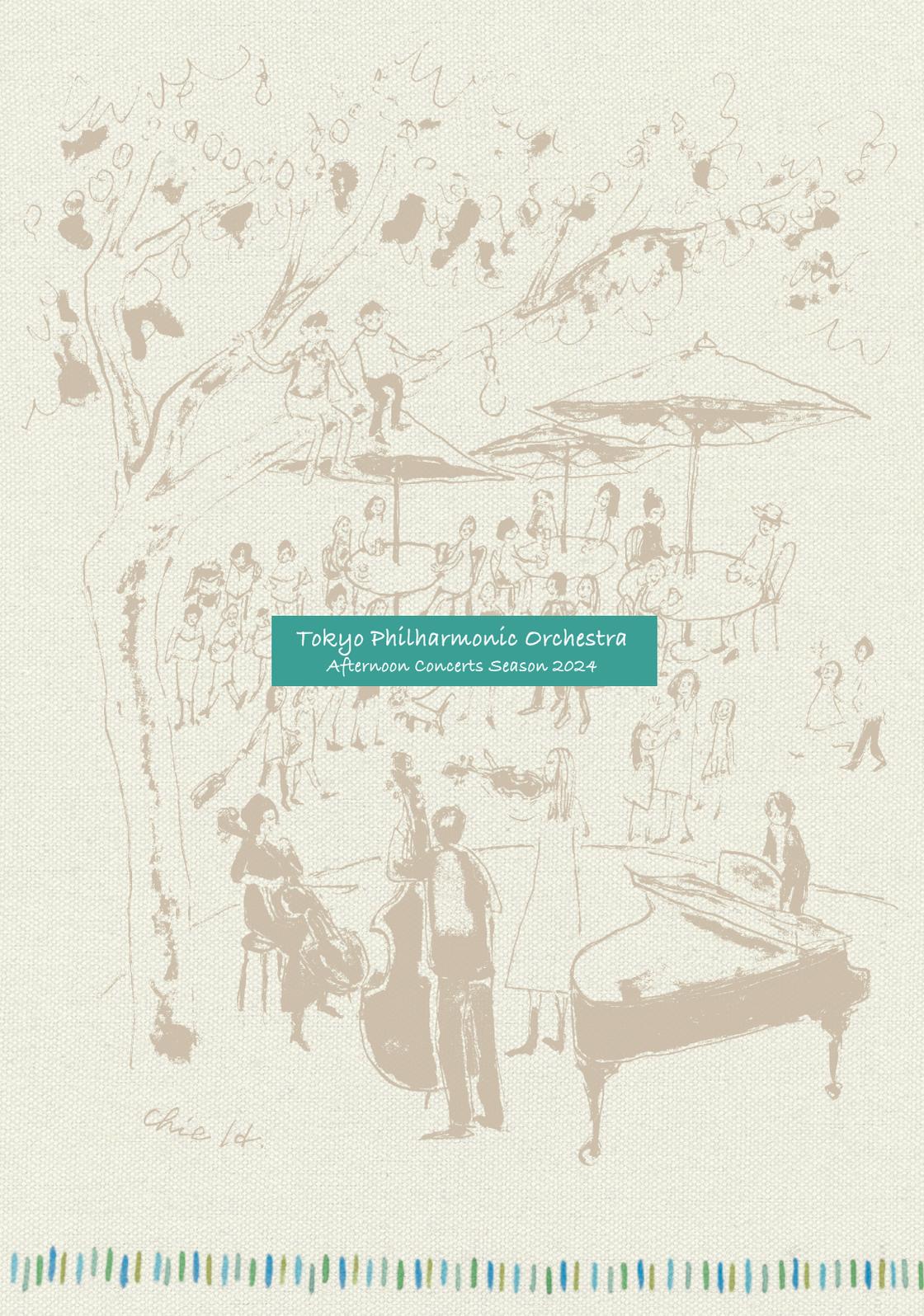
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel. 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉県 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン・本文イラスト〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 歌文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Tokyo Philharmonic Orchestra
Afternoon Concerts Season 2024

chie 14.

